

タダノレポート

2022年度(中間期) 2022年4月1日~2022年9月30日

株主の皆様へ

代表取締役社長 兼 CEO
氏家 俊明



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2021年4月の社長就任から1年半が経過しました。

その間、「Change-変革」を大きなテーマに掲げ、将来に向けた新しいチャレンジに加え、旺盛な需要の中、不安定な調達環境による生産制約や原材料価格急騰などへの対応にグループ総力をあげて取り組んで参りました。大変なことも多いですが、将来に向けた歩みを一歩ずつ踏み出せているのではないかと感じております。同時に、常に世の中の変革速度についていけているか、リードするために何をなすべきか、自問自答しています。

私たちタダノグループでは、中期経営計画(21-23)の重点テーマとして、ESG・SDGs推進に取り組んでいます。世界各国でグリーンエネルギーへのシフトが加速する中、タダノグループでは「2050年カーボンネットゼロ」を目指すことを宣言し、長期環境目標を設定してCO₂・産業廃棄物の削減に取り組んでいます。

また人材育成にも注力しています。人の成長なくして企業の成長はないと考えています。ダイバーシティ&インクルージョンも重要テーマの一つとして取り組みを進めております。

タダノグループとして2022年度より、決算期を12月31日に統一いたします。ステークホルダーの皆様へより正確でタイムリーな財務情報の提供と、グループ経営の同期化が目的です。グループとして最大限のシナジー効果を生み出し、ONE TADANOで長期目標であるLE世界No.1の実現に邁進して参ります。

株主の皆様には、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

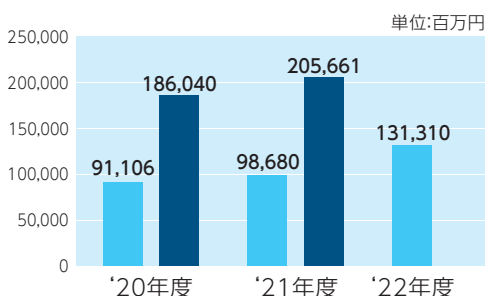
2022年12月

▶ 営業の経過及び成果

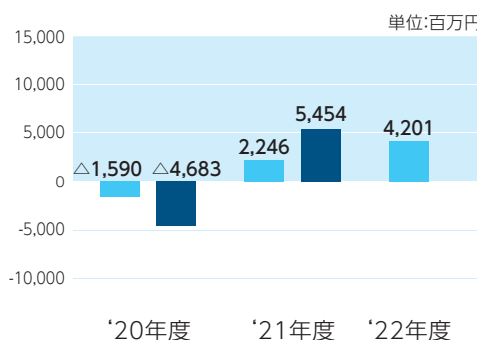
日本向け売上高は、調達環境の悪化による生産の遅れ等で、売上は低調となり405億7千2百万円となりました。海外向け売上高は、建設用クレーンの需要が順調に推移した結果、907億3千8百万円となりました。この結果、総売上高は1,313億1千万円、海外売上高比率は69.1%となりました。

営業利益は、為替の影響に加え、経費圧縮に努めた結果、44億4千万円、経常利益は42億1百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益やインド事業再編関連損失等を計上した結果、19億7千8百万円となりました。

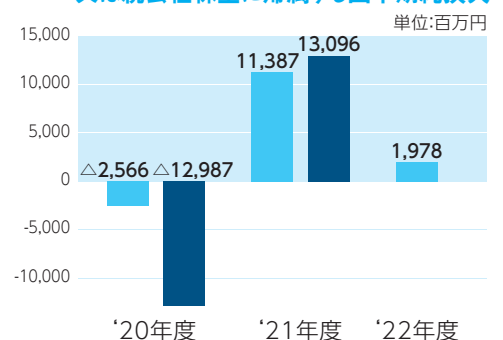
売上高



経常利益又は経常損失



親会社株主に帰属する四半期純利益
又は親会社株主に帰属する四半期純損失



※2022年度は決算期変更の経過期間であるため、当社及び3月決算であった連結対象子会社は6か月間、12月決算の連結対象子会社は9か月間を連結対象期間としております。

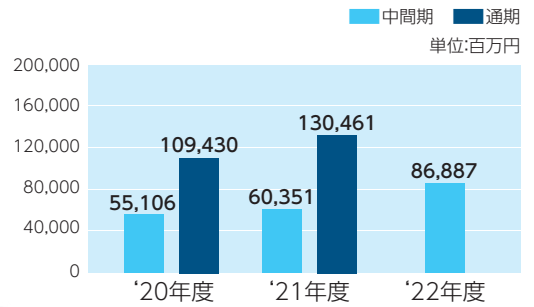


タダノグループの連結業績の概況

▶ タダノグループの主要品目別売上高の推移

建設用クレーン

需要は、日本では減少、海外では全ての地域で増加し、日本向け売上高は、167億1千万円、海外向け売上高は、701億7千6百万円となりました。この結果、建設用クレーンの売上高は868億8千7百万円となりました。



オールテレーンクレーン



ラフテレーンクレーン



トラッククレーン



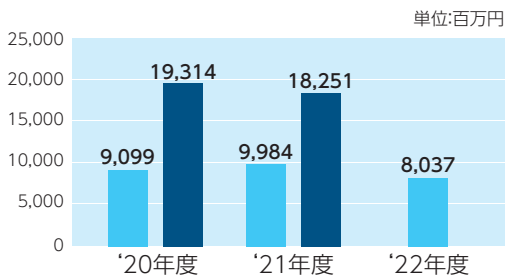
伸縮ブーム式
クローラクレーン



ラチスブーム式
クローラクレーン

車両搭載型クレーン

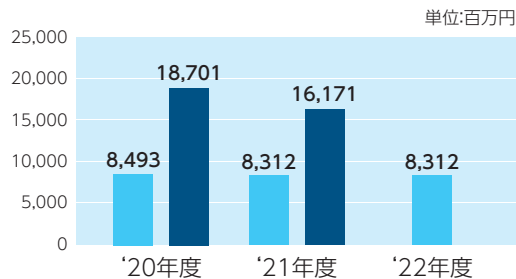
日本向け売上高は、トラック登録台数の減少が車両搭載型クレーンの販売にも影響し、67億8千8百万円となりました。海外向け売上高は、12億4千9百万円となりました。この結果、車両搭載型クレーンの売上高は80億3千7百万円となりました。



カーゴクレーン

高所作業車

高所作業車は、需要が横ばいで推移し、売上高は83億1千2百万円となりました。

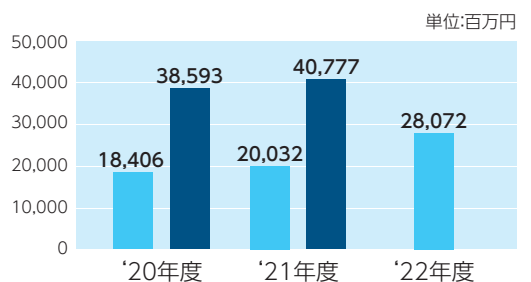


スーパーデッキ



その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、280億7千2百万円となりました。

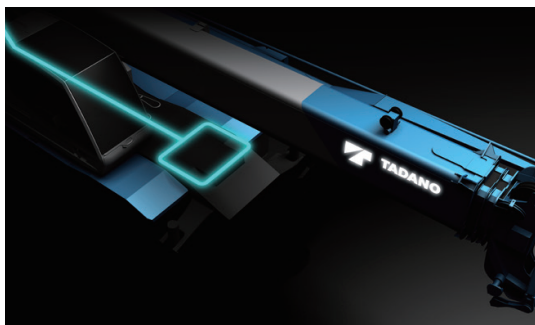




ESG・SDGsへの取り組み

▶ 「電動ラフテレーンクレーン」の製品化を発表

2022年4月、当社は世界初となる「電動ラフテレーンクレーン」の日本向け製品について商品化計画を発表しました。クレーンの作業・走行で発生するCO₂排出を電気の力を使ってゼロにすることができる画期的な商品であり、「1回の充電で、平均的な1日の走行とクレーン作業が行える」というコンセプトのもとで開発を進め、2023年内の発売を目指しています。



電動ラフテレーンクレーン イメージ

▶ 森づくり活動への取り組み

香川県の「フォレストマッチング推進事業」のもと、さぬき市の保有林の一部を「タダノまなびの森」として森林保全に取り組んでいます。2022年10月に開催した3回目となるイベントには、社員とその家族を中心に約40名が参加しました。森林保全活動とともに周辺の昆虫や生物の観察学習をNPO法人と協働で実施し、生物多様性に関して学ぶ貴重な機会にもなりました。



「タダノまなびの森」での活動



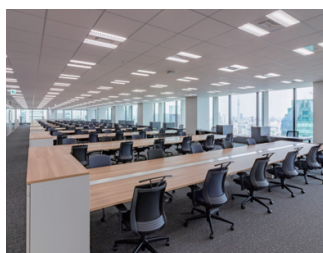
トピックス

▶ KANDA SQUAREに「タダノ東京オフィス」を移転・開設

2022年3月、国内外の営業・サービスの統括拠点であるタダノ東京事務所を東京都千代田区のKANDA SQUARE(神田スクエア)18階に移転し「タダノ東京オフィス」としてリニューアルしました。またタダノ東京支店は、東京都墨田区のリバーサイド隅田・セントラルタワー9階に移転しました。



KANDA SQUARE



タダノ東京オフィス

▶ 株式会社タダノコアテクセンター設立

2022年4月1日、「株式会社タダノコアテクセンター」(香川県丸亀市)を設立しました。新会社では、クレーンブーム等に使用する鋼板の切断・曲げ・溶接加工並びに加工技術研究を行います。新会社の設立により、タダノグループ内で一貫したブーム製作(材料加工・製缶溶接・機械加工)が可能になりました。コア技術の更なる強化により、グループをあげて長期目標であるLE世界No.1を目指して参ります。



タダノコアテクセンター



出荷前のブーム部材

▶ bauma2022出展

2022年10月下旬、ドイツのミュンヘンで、世界三大建機展の一つであるbauma2022が開催され、タダノ・デマージGmbHが、タダノグループに入って初めてのbauma出展となりました。タダノグループからは、最新モデルのオールテレーンクレーンやラチス式クローラクレーンの技術をベースとしたペDESTALクレーン、欧州向けのラフテレーンクレーン等を出展するとともに、長期環境目標の実現に向けて、Tadano Green Solutionsに関する展示も行いました。ONE TADANOで結束を固めた当社ブースには、連日たくさんのお客様が来場され、大変盛況で有意義な建機展となりました。



勢いよく開会式を行ったタダノのメンバー



当社のブースで空高くそびえたクレーンのブーム



最新オールテレーンクレーンであるAC 5.250-2(250t吊)



当社過去最大の展示スペースで12機種のクレーンを展示

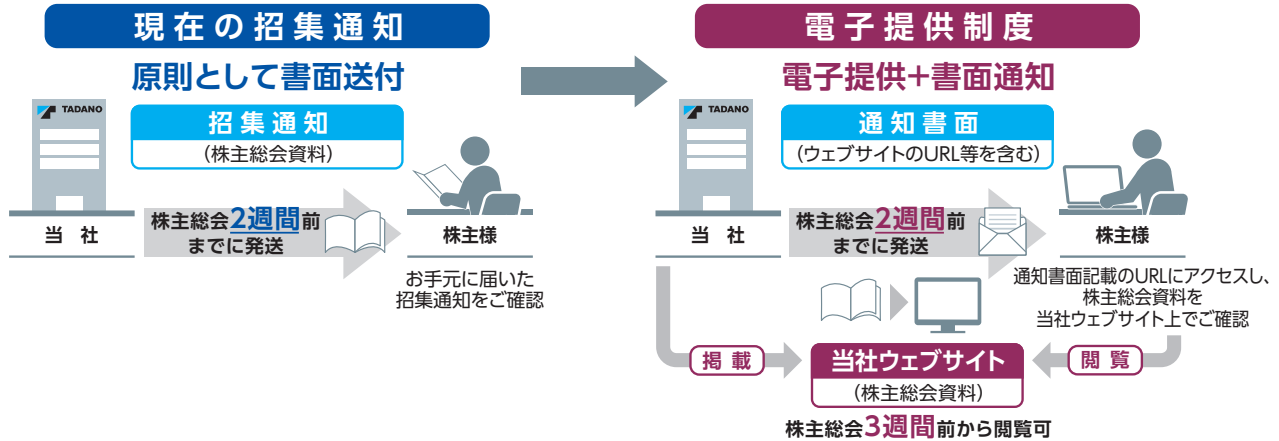


お知らせ・会社概要 (2022年9月30日現在)

お知らせ

1. 株主総会資料の電子提供制度についてのご案内

会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が施行されます。
 上場会社においては、電子提供制度の利用が義務付けられ、2023年3月以降の株主総会から、株主の皆様のお手元にこれまでお送りしていた「定時株主総会招集ご通知」の一部のみをお届けし、全体の株主総会資料(株主総会参考書類、事業報告、計算書類、連結計算書類、監査報告)については、原則ウェブサイト上でご確認いただくことになります。
 今年の株主総会では、電子提供制度の導入に備えるため、当社定款の変更に関する議案につき、株主の皆様にご承認いただきました。



※電子提供制度の導入後もインターネットのご利用が困難であるなどの株主様の事情に配慮して、「書面交付請求」の機能が設けられています。

2023年3月の定時株主総会において、株主総会資料の書面での受領を希望される株主様は、2022年12月末までに書面交付請求のお手続きを完了していただく必要があります。
 お手続きの方法につきましては、お取引されている証券会社または、右記のみずほ信託銀行(株主名簿管理人)窓口へお問い合わせください。

電子提供制度・書面交付請求に関するお問い合わせ先

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 株主総会資料ウェブ化に関するお問い合わせ窓口
 0120-524-324
 [受付時間]9:00~17:00(土・日・祝を除く)

2. 決算期変更について

第74回定時株主総会決議に基づき、2022年度より、事業年度、剰余金配当基準日および定時株主総会開催月が変更になっています。下記、株主メモ欄をご参照ください。

概要

商号	株式会社タダノ TADANO LTD.	本拠地	香川県高松市新田町甲34番地
資本金	13,021,568,461円 (発行済株式の総数 129,500,355株)	東京オフィス	東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1 KANDA SQUARE 18階
設立	1948年8月24日	工場	高松工場(高松市)、志度工場(さぬき市)、香西工場(高松市)、 多度津工場(香川県多度津町)、千葉工場(千葉市)
従業員数	単独1,563名 連結4,687名	タダノコアテクセンター	(丸亀市)
事業内容	建設用クレーン、 車両搭載型クレーン及び高所作業車等の製造販売	研究所・試験場	技術研究所(高松市)、三本松試験場(東かがわ市)
		支店・営業所	10支店・23営業所
		海外事務所	北京事務所、モスクワ事務所、バンコク事務所
		グループ会社	子会社36社・関連会社3社

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで ※2022年度は、2022年4月1日から12月31日までの9か月間
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会・期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
公告掲載方法	電子公告 (https://www.tadano.co.jp/) ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
株式事務のお問い合わせ先	【証券会社で口座を開設されている場合】 お取引の証券会社にご連絡ください。 【証券会社で口座を開設されていない場合】 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daiyou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)



統合報告書発行のお知らせ



統合報告書2022を発行しました。
 当社の経営状況や持続的成長に向けた取り組みについて、ご紹介しています。こちらのウェブサイトからご覧ください。

▶▶ www.tadano.co.jp/ir/integrated_report/index.html



タダノ ウェブサイト

決算やESGに関する情報を開示しています。
 ▶▶ www.tadano.co.jp/index.html

